

健やか登山ガイドクラブ

緊急時対応マニュアル

(遭難対策マニュアル)

会長 山川徳明

2024.12作成版

### **遭難対策に対する心構え**

- ・会員はいかなる山行においても遭難事故を未然に防ぐことが重要かつ必然であり、日頃から遭難防止のための登山技術の向上、救助活動に対する意識向上に努めること。
- ・登山・自然ガイド業務の際には安全に十分配慮し、慎重な行動を心がけること。

### **登山計画書について**

- ・会員はすべての山行において所定の届け先に登山計画書を提出しなければならない。

### **連絡網の周知**

- ・会員自身はもちろん、身近な関係者に緊急連絡先を周知しておくこと。

### **携帯電話 山岳地域における携帯電話の使用について注意点**

- ・電波は直線的に飛ぶため電波の陰になる沢筋等では使用できない。
- ・尾根上でもわずかな位置の違いにより通話できない時があるので場所を移動して探す。
- ・電波が圏外を示している時、電池の消耗を考えて電源を切っておくか電波 OFF モード（機内モード）にしておくこと。  
（圏外では携帯電話が頻繁に電波を出して中継局を探すため）
- ・GPS 機能（アプリ）は電池消耗が早いので使用には注意すること。
- ・電池は極端に低温に弱いため（特に冬山）、携帯を冷やさない凍らせないこと。

### **緊急（遭難）発生時**

- ・会員自身が連絡可能な場合は、定められた連絡先に電話連絡し、（電波状況によってはE-Mail/ショートメッセージ）身体や周囲の状況・遭難発生場所・発生時刻・人数を明確に報告すること。
- ・会員が何らかの理由で緊急な状況を報告できないと判断された場合は、予め周知しておいた関係者が当会に報告をする必要があることを、よく説明しておくこと。

## 遭難対策行動指針

### 遭難の定義

『遭難』 悪天候やルート判断ミスなどにより行方不明となった場合、また、メンバーの怪我・病気による死亡や負傷で山行メンバーの全員あるいは一部に生命に危険がある場合等で、パーティー単独での行動が困難であり、山行パーティーおよび、山岳会単位での救援活動では対応が出来ない状態を『遭難』と定義する。

### 遭難連絡網発動の判断

会員のガイド・山行中、『遭難』が発生し下記の項目の状態になったときは速やかに当会からJMGA事務局に報告を行う。

- ・山行パーティーから緊急連絡を受け、捜索救援活動を要請された時。
- ・所轄警察、山小屋、他パーティーなどから『遭難』を知らされた時。
- ・最終下山予定時刻を過ぎても山行パーティーから下山連絡がない時。
- ・家族・関係者からの要請があった時。

### 通報第一受理者の対応

通報受理者は下記のことを聞きとる。（必ずメモをとる）

- ・事故発生日時
- ・事故発生の状況（場所、事故内容）
- ・事故者の状況（怪我、意識・精神の状況、その処置等具体的に）
- ・他メンバーの状況
- ・自力下山の可能性、警察への連絡有無、リーダーの判断
- ・現地の気象状況
- ・燃料、装備、食糧の残量の確認
- ・無線、携帯電話などの連絡手段の確認（次回の連絡時間、方法）

### 事故連絡（通報第一受理者である場合）

- ・事故の内容を警察に連絡する。
- ・当会へ連絡する。
- ・当会よりJMGA事務局に連絡する。

## 緊急時連絡網

- . 山行パーティーから緊急連絡を受け、捜索救援活動を要請された時。
- . 所轄警察、山小屋、他パーティーなどから『遭難』を知らされた時。

# 遭難発生

自力通報可能

連絡がとれない

**110番通報**

家族・関係者へ連絡

家族・関係者が**110番通報**

当会への連絡（いずれか）

**080-6767-8828** 佐藤 [info@apgwa.onmicrosoft.com](mailto:info@apgwa.onmicrosoft.com)

**03-3943-1391** 中村 [sea@cj9.so-net.ne.jp](mailto:sea@cj9.so-net.ne.jp)

**026-227-4577** 山川 [pkn78825@biglobe.ne.jp](mailto:pkn78825@biglobe.ne.jp)

JMJA事務局へ報告 **03-3358-9806**